

2019年4月、アメリカ穀物協会は8回目の年次トウモロコシ輸出貨物品質報告書を発表しました。このレポートは、436の輸出貨物サンプルのテスト結果を反映しており、2018/2019の輸出貨物サンプルの総平均は、すべての等級要件で米国のNo.2等級以上であることを示します。調査で見つかった注目に値する全米平均の品質要件は、この要約で説明されており、下のインフォグラフィックに表示されています。

| 全体的な作柄 | 等級ファクター/ 水分含量 | 化学組成 | 物理的ファクター | マイコトキシン |
|---|--|--|--|---|
| 米国全体の平均はすべての等級ファクターにおいて米国No. 2レベル以上であった | 容積重 同水準 BCFM やや下回る 総損傷 上回る 水分含量 やや上回る | タンパク質 同水準 デンプン 下回る 油分 やや上回る | ストレスクラック 下回る 百粒重 上回る 真の密度 上回る 完全粒 下回る | すべてのアフラトキシンがFDA規制レベルの20ppb以下 すべてのDONがFDA勧告レベルの5ppm以下 |
| | 5YAとの比較 | 5YAとの比較 | 5YAとの比較 | |

輸出貨物の等級ファクターと水分含量

- 2017/2018年度と同じ容積重(1ブッシェルあたり57.4ポンド、または1ヘクタリットルあたり73.9キログラム)であった。サンプルの約84.4%が米国No.1等級のトウモロコシの下限以上であり、全体的に良好な品質を示した。
- 平均の破損粒および異物(BCFM)(2.9%)は2017/2018年度と同じレベルで、5YAおよび米国No.2等級の限界値(3.0%)をわずかに下回った。トウモロコシが収穫から輸出に至るまでの輸送過程で、BCFMは0.7から2.9%に増加すると予測される。
- 平均総損傷(2.6%)は2017/2018年度(1.9%)より高い。サンプルの大部分(94.7パーセント)は、米国No.2等級の範囲内であった。

- ごくわずかな熱損傷が観察された。これは、流通経路全体を通してトウモロコシの乾燥および保管が適切になされていることを示す。
- 平均水分含量(14.5%)は、2017/2018年度と5YA(どちらも14.4%)よりもわずかに高かった。

輸出貨物の化学組成

- 平均タンパク質含量(乾物ベース8.5パーセント)は、2017/2018年度(乾物ベース8.6パーセント)よりもわずかに低く、5YAと同じレベルであった。
- 平均デンプン含量(乾物ベース72.3パーセント)は、2017/2018年度(乾物ベース72.1パーセント)よりもわずかに高く、5YA(乾物ベース73.2パーセント)より低かった。
- 平均油分含量(乾物ベース4.0%)は、2017/2018年度よりもわずかに低かったが、5YAよりわずかに高かった(それぞれ乾物ベース4.1および3.9パーセント)。

¹ 5YAは、2013 / 14、2014 / 2015、2015 / 2016、2016 / 2017、2017/2018のトウモロコシ輸出時品質レポートでの、品質ファクターの単純平均を表している。



輸出貨物物理的ファクター

- 平均ストレスクラック(7%)は、2017/2018年度(9%)および5YA(10%)よりも低かった。輸出サンプルの大部分(88.5%)は15%未満のストレスクラックを有していた。
- 平均ストレスクラック指数(16.2)は、2017/2018年度(22.4)および5YA(25.1)よりも低かった。2017/2018年度および5YAと比較して今年のストレスクラック指数およびストレスクラックのパーセンテージが低いのは、収穫時の平均水分含量が低いことが一因と考えられる。
- 平均百粒重(36.17グラム)は2017/2018年度(36.07グラム)および5YA(35.42グラム)より大きく、昨年および5YAよりも2018/2019年度の穀粒が重いことを示している。
- 平均穀粒容積(0.28立方センチメートル)は、2017/2018年度と5YAと同じレベルであった。
- 平均の真の穀粒密度(1立方センチメートル当たり1.288グラム)は、2017/2018年度および5YAよりもわずかに高かった(それぞれ1立方センチメートル当たり1.287および1.286グラム)。

- 完全粒の平均パーセンテージ(85.2パーセント)は2017/2018年度(84.4パーセント)より高いが、5YA(87.8パーセント)より低かった。
- 硬胚乳の平均値(82パーセント)は、2017/2018年度および5YA(ともに81パーセント)より高かった。

輸出貨物のマイコトキシン(カビ毒)

- テストしたすべての輸出サンプルは、アフラトキシンについて米国食品医薬品局(FDA)の規制レベル(20ppm)以下であった。検出可能なレベルのアフラトキシンを含まないサンプルの割合は95.9パーセントで、2017/2018年度サンプル(93.3パーセント)よりわずかに高かった。
- テストしたすべての輸出サンプルは、デオキシニバレノール(DONまたはVomitoxin)のFDA勧告レベル5 ppm以下であった。検出可能なレベルのDONがないサンプルの割合は85.6パーセントで、昨年のサンプル(88.6パーセント)よりわずかに低かった。



VIEW THE FULL REPORT ONLINE IN EARLY APRIL

The full report will provide details on these characteristics and the tests used to assess them. Please visit www.grains.org in early April to view the report in its entirety.

ABOUT THE U.S. GRAINS COUNCIL

The U.S. Grains Council is a private, non-profit partnership of farmers and agribusinesses committed to building and expanding international markets for U.S. sorghum, barley, corn, and their co-products, including ethanol. The Council is headquartered in Washington, D.C., and has 14 international offices that oversee programs in more than 50 countries.